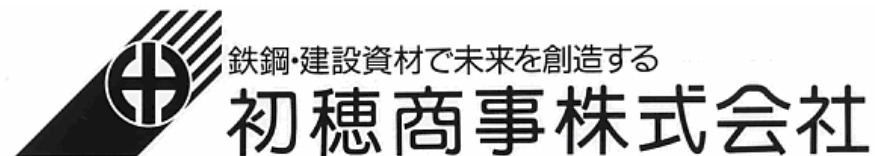


平成18年6月中間期 会社説明資料

平成18年8月



(JASDAQ 7425)

平成18年6月現在

商号 初穂商事株式会社

本社 名古屋市中区錦二丁目14番21号

代表者 代表取締役社長 齋藤 悟

設立 創業 昭和21年2月1日
設立 昭和33年12月18日

資本金 885百万円

売上高 17,012百万円

従業員 192人

昭和33年12月	鉄鋼二次製品、合成樹脂及び非鉄金属製品の販売を目的として資本金5,000千円で名古屋市千種区に初穂商事株式会社を設立
昭和59年1月	名港流通センターを設立、軽量鋼製下地材の販売を開始（現名港営業所）
昭和61年9月	静岡市に静岡営業所を設置
昭和63年4月	富山県射水郡小杉町に北陸営業所を設置
平成2年8月	愛知県春日井市に春日井流通センターを建設し営業を開始（現春日井営業所）
平成2年9月	愛媛県松山市に四国営業所を設置
平成3年10月	長野市に長野営業所を設置
平成4年8月	愛知県豊川市に豊橋営業所を設置
平成4年9月	広島県福山市に福山営業所を設置
平成6年7月	新潟県長岡市に長岡出張所を設置（現長岡営業所）
平成7年1月	日本証券業協会に株式店頭登録
平成7年8月	埼玉県川口市に埼玉営業所を設置
平成7年10月	福岡県大野城市に福岡営業所を設置
平成9年11月	福井県福井市に福井営業所を設置
平成9年12月	岡山県岡山市に岡山営業所を設置
平成14年12月	リフォーム事業を強化するため株式会社タンポポホームサービスの全株式を取得（現子会社）
平成16年9月	神奈川県横浜市に横浜営業所を設置
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場

当企業集団等は、当社及び子会社2社、関連会社1社により構成されており、事業は軽量鋼製下地材、石膏ボード、建築金物等の鉄鋼二次製品の販売、リフォーム業、線材加工、運送業を行っています。

当社（鉄鋼二次製品の販売）

軽量鋼製下地材・不燃材・建築金物・エクステリア・鉄線・溶接金網・ALC
金具副資材・カラー鉄板・窯業建材金具副資材

株式会社タンポポホームサービス（建設業）

新築・増改築・リフォーム

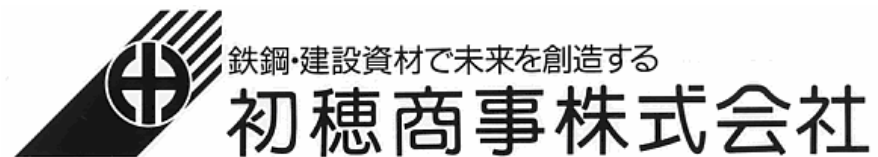
大橋鋼業株式会社（線材加工）

線材製品の加工

三宝運輸株式会社（運送業）

当社商品の配送

平成18年6月中間期 決算概要



建設業界は、公共工事の減少が続きましたが、企業収益の回復を背景に、設備投資意欲が回復し、オフィスビルや工場等の建設が活発化いたしました。また、住宅市場におきましては、雇用や所得環境の改善に加え、長期金利や住宅価格の底打ち感等により、三大都市圏を中心に堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社は、「お客様第一」をモットーに、既存顧客へのより一層のサービス向上に努めるとともに、新規顧客の開拓を営業活動の中心に据え、売上拡大に努めてまいりました。

<トピックス>

平成18年4月19日開催の取締役会決議により、平成18年7月1日付をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、定款の変更が行われ、発行可能株式総数は11,700,000株増加し、23,400,000株となっております。

損益計算書

初穂商事株式会社

(単位：百万円)	18年6月中間期	17年6月中間期	前期比	備考
売上高	8,679	8,156	106.4%	オフィスビルや工場等の民間建設需要の増加が主因
売上原価	7,206	6,755	106.7%	
販売費及び一般管理費	1,251	1,185	105.5%	
営業利益	221	214	103.4%	
営業外収益	34	36	95.6%	
営業外費用	5	6	82.3%	
経常利益	250	244	102.8%	
特別利益	28	42	67.4%	
特別損失	8	683	1.3%	17年6月中間期は、旧千種営業所跡地売却に伴い発生が見込まれる固定資産売却損失引当金繰入れ661百万円によるものです。
中間（当期）純利益又は中間純損失（△）	163	△ 237	---	

貸借対照表

初穂商事株式会社

(単位：百万円)	18年6月中間期	17年6月中間期	比較増減	備考
流動資産	7,855	7,291	564	固定資産売却等により、現金預金が334百万円の増加
固定資産	3,290	4,123	△ 83	旧千種営業所跡地売却による、土地850百万円の減少
資産合計	11,146	11,415	△ 268	
流動負債	6,108	6,367	△ 258	固定資産売却損失引当金661百万円の減少、一年内償還予定社債300百万円の増加
固定負債	248	559	△ 310	社債300百万円の減少
負債合計	6,357	6,926	△ 569	
資本金	885	885	0	
資本剰余金	1,316	1,316	0	
利益剰余金	2,540	2,269	270	中間純利益の増加
その他有価証券 評価差額金	76	37	38	
自己株式	△ 28	△ 19	△ 8	
資本合計	4,789	4,488	300	

キャッシュ・フロー計算書

初穂商事株式会社

(単位：百万円)	18年6月中間期	17年6月中間期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 242	△ 426	184	主に税引前当期純利益270百万円の計上、 売上債権の減少562百万円、仕入債務の増 加937百万円、法人税等の支払121百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 124	△ 53	△ 70	主に定期預金の預入による支出200百万 円、有形固定資産の取得51百万円、有形固 定資産の売却による収入180百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 208	△ 73	△ 135	主に短期借入金の返済140百万円、配当金 の支払による支出42百万円
現金及び現金同等物の 増減額（減少△）	△ 575	△ 554	△ 21	
現金及び現金同等物の 期首残高	1,784	1,428	356	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,208	873	334	

(単位：百万円)

セグメント	18年6月中間期		17年6月中間期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
軽量鋼製下地材・不燃材	5,765	66.4%	5,439	66.7%	325	6.0%
建築金物・エクステリア	1,117	12.9%	1,132	13.9%	△15	△1.4%
鉄線・溶接金物	648	7.5%	551	6.8%	96	17.5%
A L C金具副資材	495	5.7%	436	5.3%	59	13.5%
その他	653	7.5%	595	7.3%	58	9.8%
合計	8,679	100.0%	8,156	100.0%	523	6.4%

軽量鋼製下地材・不燃材

民間設備投資の拡大に伴う需要増

建築金物・エクステリア

マンションなどの分譲住宅が好調に推移しましたが、持ち家着工戸数が減少

鉄線・溶接金物

自動車関連に使用されるCH材（ネジ材）の需要増

A L C金具副資材

商業施設などの建設に伴う需要増

平成18年12月期 業績予想



鉄鋼・建設資材で未来を創造する

初穂商事株式会社

(単位：百万円)	18年12月期予想	17年12月期	増減	備考
売上高	17,800	17,012	788	自動車・デジタル関連を中心に、工場建設などによる需要増が見込まれる。又、老朽化した建物の建て替えや、高度成長時代に大量に建てられた住宅リフォームの時期に差し掛かることなどから、需要の拡大が見込まれる。
経常利益	630	573	57	
当期純利益又は当期純損失(△)	308	△ 72	380	
EPS (円)	35.83	△ 20.27	---	
ROE (%)	6.2	△ 1.5	---	

EPS=1株当たり当期純利益

ROE=自己資本利益率

(注) 平成18年4月19日開催の取締役会決議により、平成18年6月30日現在の株主に対し、平成18年7月1日付をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。なお、1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割後の発行済株式数により算出しております。

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

経営方針

当社は、創業以来、常にお客様の立場から、鉄鋼を中心とする建設資材の専門商社としての理想的な企業を追求してまいりました。

ユーザーニーズにきめ細かく対応する小ロット・ジャスト・イン・タイムの配送体制を武器に、地域に密着した供給サービス体制を強化し、豊富な品揃えと迅速・確実なデリバリー体制を更に強固なものに推し進めてまいります。

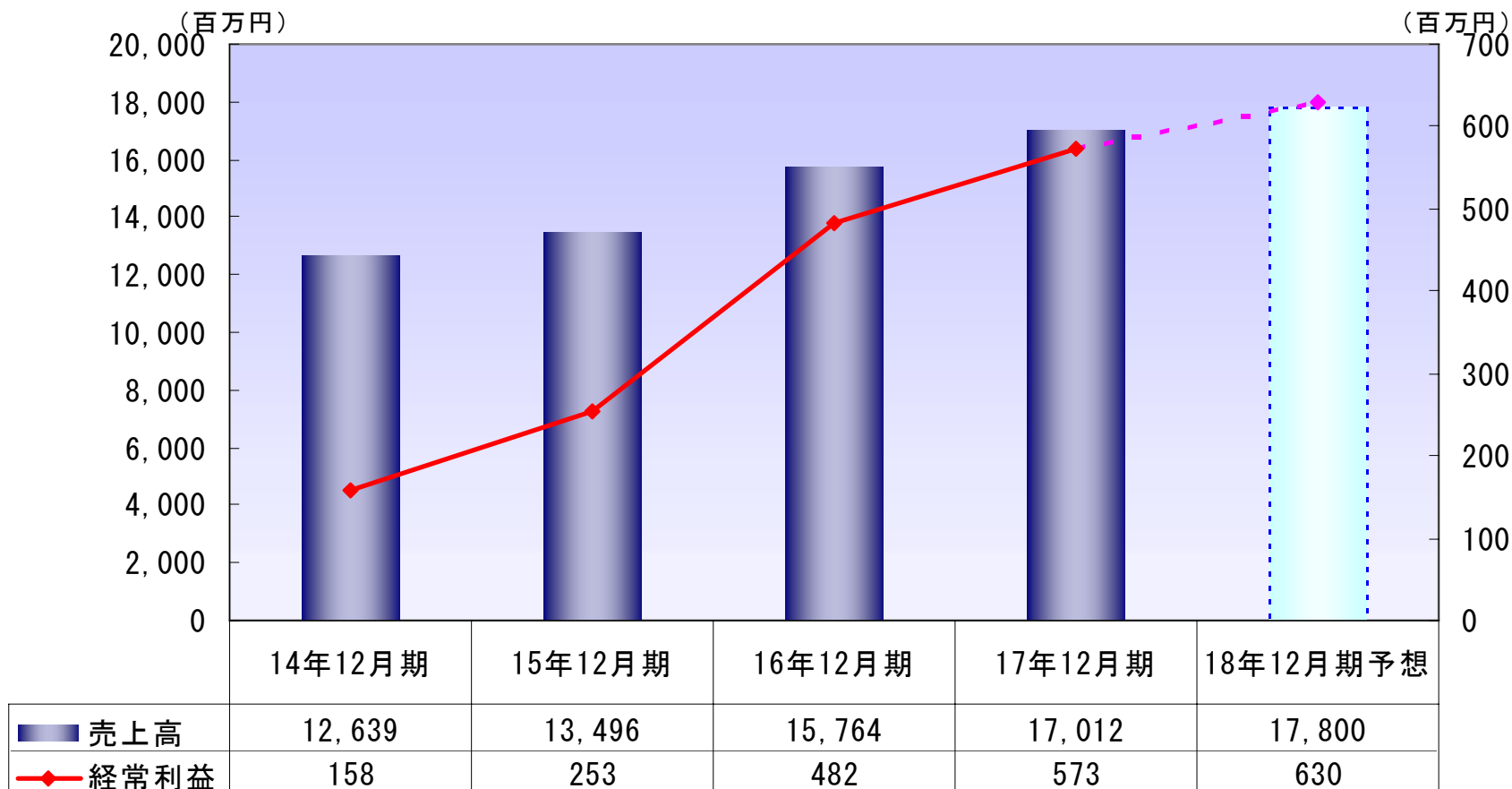
価値観が多様化している現代社会において、人間にとって真の豊さとは何かを問われている中で、鉄鋼・建設資材を通して、安全でより快適な暮らしの出来る社会づくりに貢献するとともに、企業価値の更なる向上を図り、株主・取引先・社員など会社の幅広い利害関係者の信頼と期待に応えて行くことを基本方針としております。

今期の取り組み

今後は、営業所及びストックヤードの新設、将来成長が見込まれるリフォーム事業や工事関連事業・住宅分野への販売を強化し、市場拡大を積極的に進めてまいります。また、経営目標を実現するため、社員の意識改革を図り、常に目標や志を持って仕事にとり組んでもらうよう、そしてその結果が正しく評価されるよう、人事制度の改革を進めてまいります。

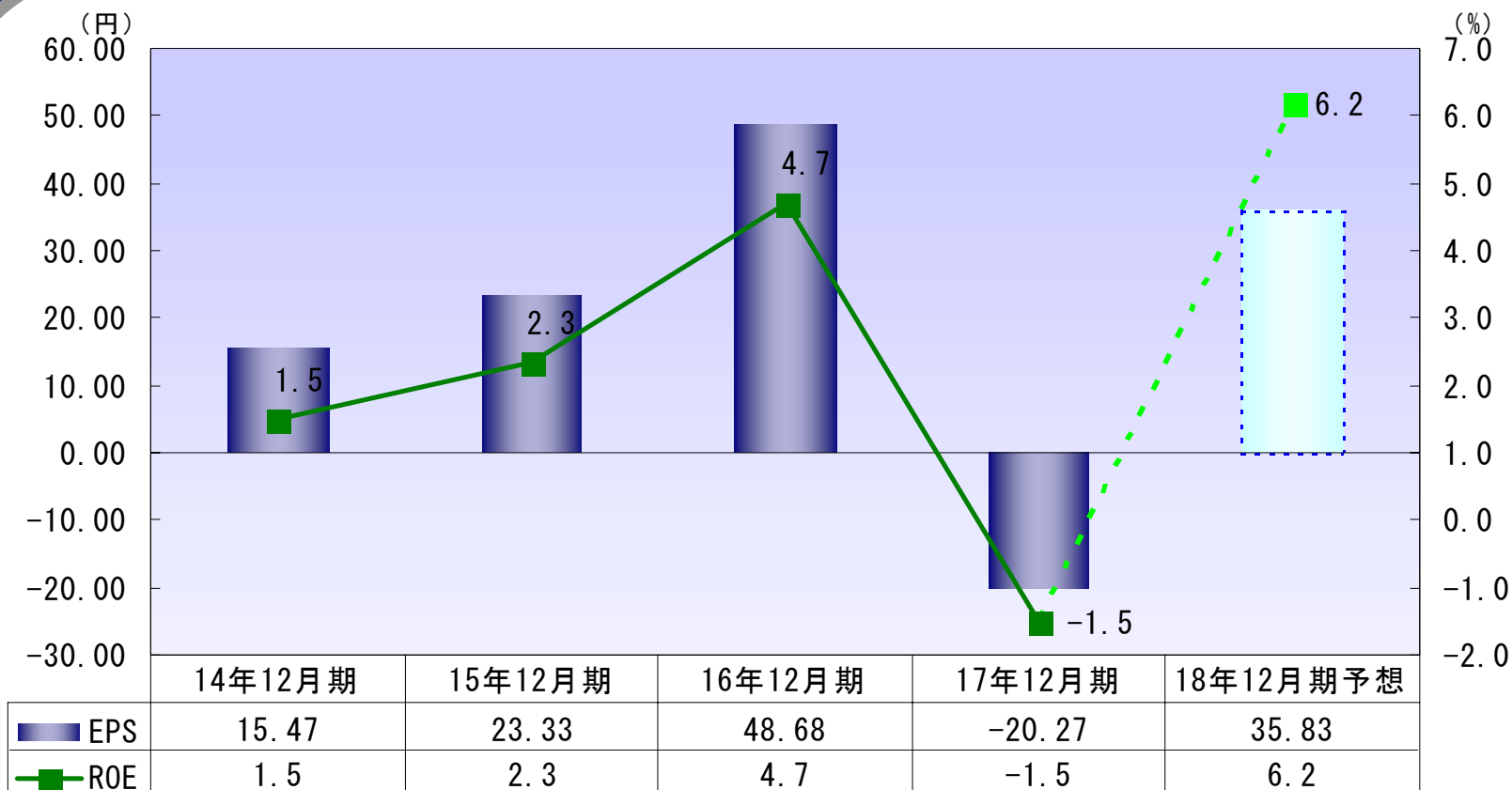
売上高・経常利益の推移

初穂商事株式会社



上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

EPS・ROEの推移



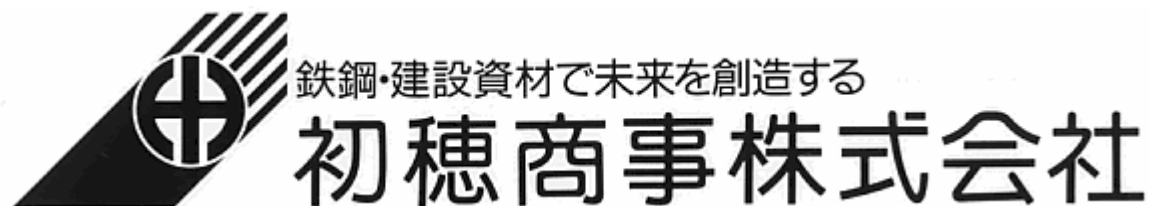
EPS=1株当たり当期純利益

(注) 平成18年7月1日付をもって、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

ROE=自己資本利益率

1株当たり予想当期純利益(通期)は、当該株式分割後の発行済株式数により算出しております。

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。



管理本部

TEL : 052-222-1066

E-mail : a.takano@hatsuho.co.jp